

## 塘研究室現地調査報告

6月15日、小雨降る中、長瀬川・酸川の底生動物相調査を横山君と塘の二人で実施しました。調査地点は下流側から長瀬川橋下、長瀬川橋上、酸川（三右衛門付近）、長瀬川荒川付近の4ヶ所です。長瀬川橋上と長瀬川荒川付近は3月に調査を実施した場所、それ以外の2ヶ所は4月の調査実施場所です。

長瀬川橋下はコオノオナシカワゲラが多く、センブリ属、チャイロシマチビゲンゴロウ、モンキマメゲンゴロウ、レゼイナガレトビケラ、ミヤマイトビケラ属、センカイトビケラ属も見られました。長瀬川上はコオノオナシカワゲラとモンキマメゲンゴロウが多く、マルガムシ、キイロヒラタガムシ属、エグリトビケラ科、ミドリカワゲラ科が見られました。酸川（三右衛門付近）ではコオノオナシカワゲラ、チャイロシマチビゲンゴロウ、レゼイナガレトビケラ、クロスジヘビトンボ、ヘビトンボ、ミズムシ、ミヤマイトビケラ属、ムラサキトビケラなど多様な底生動物が見られましたが、モンキマメゲンゴロウは確認できませんでした。長瀬川荒川付近ではウチダザリガニが見られ、今年孵化した個体が特に多く見られました。その他にはアミメカワゲラ科やマダラカゲロウ科が多く見られました。



チャイロシマチビゲンゴロウとコオノオナシカワゲラ



モンキマメゲンゴロウ幼虫(長瀬川橋下)



モンキマメゲンゴロウ、マルガムシ(長瀬川橋上)



クロスジヘビトンボとヘビトンボ(三右衛門付近)



アミメカワゲラ科



ウチダザリガニ(長瀬川荒川付近)